

2026 GRS 研究室旅行 (2026.08.06~2026.08.07)

今年の研究室旅行では、飛騨高山の豊かな自然や伝統文化、食文化に触れ、地域の魅力を学ぶことを目的に、高山市を訪れました。

〈1日目：昼食、飛騨大鍾乳洞、夕食〉

1日目は、岐阜駅から約2時間かけて高山濃飛バスセンターへ向かいました。岐阜市と比べると、外の気温も少し涼しく感じられ、高山に到着したところから普段とは違う空気を感じることができました。

昼食は「飛騨そば 小舟」でいただきました。人気のお店ということもあり満席でしたが、少し待って入ることができました。メンバーの多くが人気 No.1 の「飛騨牛せいろ蕎麦」を注文しました。つゆは甘めで、たっぷり入った飛騨牛とそばの相性もよく、とてもおいしくいただきました。



昼食後は、濃飛バスとシャトルバスを利用して「飛騨大鍾乳洞」へ向かいました。この日は晴天で外は暑かったものの、鍾乳洞の中に入ると一気に涼しくなり、場所によっては12.8℃というところもあり、ひんやりとした空気に驚きました。

鍾乳洞の中には、「仏の座」や「夢の宮殿」、「国会議事堂」など、特徴的な形にちなんだユニークな名前が付けられた鍾乳石がたくさんありました。それぞれの形をよく観察したり、写真を撮ったりしながら楽しみました。残念ながら、この日は第一洞から第三洞までのうち第二洞までしか見学できませんでしたが、普段なかなか見ることのできない自然の造形を間近で見る貴重な経験となりました。



夕食は「味の与平」で飛騨牛をいただきました。自分で焼いて食べるスタイルで、一切れ一切れに食べ応えがあり、とても満足感のある夕食でした。昼食の飛騨牛せいろ蕎麦に続き、高山ならではの食文化を楽しむことができました。





夕食後は「スパホテルアルピナ飛騨高山」に宿泊し、1 日目を終わりました。

〈2 日目：さるぼぼ作り体験、高山昭和館、古い町並み〉

2 日目は、まずホテルの朝食ビュッフェをいただきました。飛騨地方の食材や料理が多く用意されており、朝から高山ならではの味を楽しむことができました。

午前 10 時から、さるぼぼ作りを体験しました。最初にそれぞれ好きな色のさるぼぼを選び、ワタを詰めた後、頭と胴体を縫い合わせ、最後に前掛けを作りました。前掛けには、自分の願い事や目標を書き込み、それぞれ思いを込めてさるぼぼを完成させました。

さるぼぼには顔が描かれていません。これは、昔は作る人や持つ人がそれぞれの気持ちを重ねられるように、あえて顔を描かなかったとされているからだそうです。実際に自分でさるぼぼを作ること、飛騨高山に受け継がれてきた伝統文化を身近に感じることができ、貴重な経験となりました。



その後、11時から「高山昭和館」を訪れました。館内には昭和時代の建物や家具、家電、玩具などが展示されており、まるで昭和時代にタイムスリップしたような感覚を味わうことができました。ファミコンやオセロなど、実際にゲームを体験できるものもあり、楽しみながら昭和の暮らしについて知ることができました。

特に印象に残ったのは、昭和時代の小学校の教室を再現した部屋です。木製の机や椅子、ランドセル、黒板などが置かれており、昔の学校生活を想像するとともに、自分たちの小学生の頃を思い出すきっかけにもなりました。



昼食は「つづみそば」で中華そばをいただきました。さるそば作りの際にお店の方からおすすめしていただいたお店で、地元の方に親しまれている穴場のようなお店でした。他の有名店と比べて空いており、すぐに入ることができました。中華そばはあっさりとして食べやすく、特にチャーシューはしっかりとした噛み応えがあり、とてもおいしかったです。



昼食後は、高山の古い街並みを散策しました。学部生は SNS で話題になっているお店を訪れ、濃厚な抹茶クリームをたっぷり使ったかき氷や、ほうじ茶のかき氷などを楽しみました。日差しが強く暑い日だったため、冷たいかき氷はまさにぴったりの食べ物でした。その後は、それぞれお土産を購入したり、街並みを見ながらお店を巡ったりして、最後まで高山観光を楽しみました。



16 時に高山濃飛バスセンターを出発し、約 2 時間かけて岐阜駅へ戻り、2 日間の研究室

旅行を終えました。

今回の研究室旅行では、飛騨大鍾乳洞で自然に触れ、さるぼぼ作りを通して伝統文化を体験し、飛騨牛や飛騨そばなどの郷土料理を味わうなど、飛騨高山の自然・文化・食を幅広く楽しむことができました。普段の生活ではなかなか経験できないことを実際に体験することで、飛騨高山という地域の魅力をより深く知ることができたと思います。

また、高山の街を歩いていると、日本人よりも外国人観光客の方が多いのではないかと感じるほど、たくさんの外国人観光客が訪れていました。バスの中で、外国人観光客の方から降りるバス停について尋ねられることがありました。しかし、そのときはうまく答えることができず、英語でコミュニケーションを取ることの難しさを実感しました。この経験をきっかけに、外国人観光客とも簡単な英語でコミュニケーションが取れるよう、少しずつ英語力を身につけていきたいと感じました。

今回の旅行で得た経験や学びを、今後の大学生活や将来の仕事にも生かしていきたいと思います。